

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号 14 ※18年4月1日から清掃計画課に組織改正 作成日 平成 17 年 6 月 20 日

事業名 **集団回収支援事業**
 所属名 環境防災部 清掃・リサイクル課 リサイクル推進係 電話番号 3652-1151 (代表)

事業の目的及び概要
 区民がボランティアで行う資源再利用のための集団回収を区が援助することにより、資源再利用の推進を図る。

事業の開始年度 平成4年度

現在の課題

- ① 未実施地域へのはたらきかけ
- ② 集団回収活動の活性化
- ③ 行政回収に替わる「集団回収モデル事業」の実施

事業の対象者と動向 区民全体 対象年齢あり ()
 [区人口・各年4月1日現在] 対象条件 ()

14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向
640,389人	646,974人	653,743人	657,767人		↗ 増加傾向

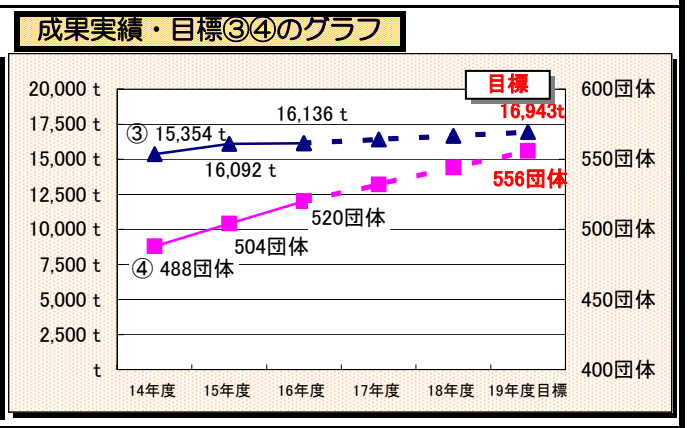
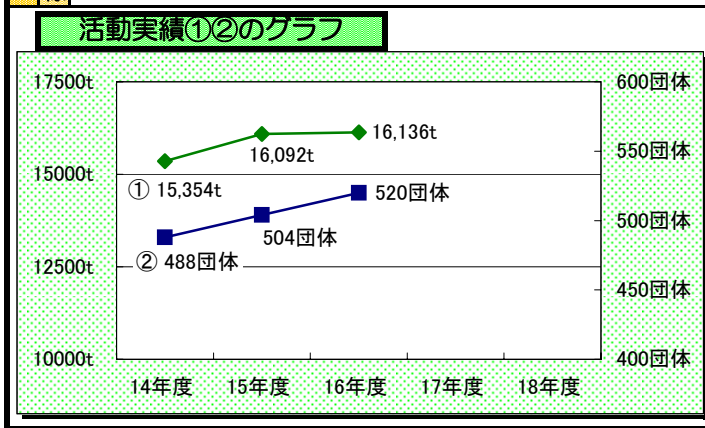
備考 :

	活動指標名	活動指標の説明
①	集団回収による資源回収量	各年度の集団回収量実績
②	集団回収実施団体数	各年度の集団回収実施団体数

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
①	15,354 t	16,092 t	16,136 t	t	t
②	488団体	504団体	520団体	団体	団体

	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
③	集団回収による資源回収量	集団回収を推進していくことによる回収量の目標数値
④	集団回収実施団体数	集団回収を推進していくことによる集団回収実施団体数の目標数値

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
③	15,354 t	16,092 t	16,136 t	t	t	16,943 t	今後の取り組みによって、可能と考えられる集団回収による資源回収量と実施団体数
④	488団体	504団体	520団体	0団体	0団体	556団体	



事業名 集団回収支援事業

実施の根拠となる法令等

江戸川区資源再利用推進要綱

民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし あり

委託等の内容（

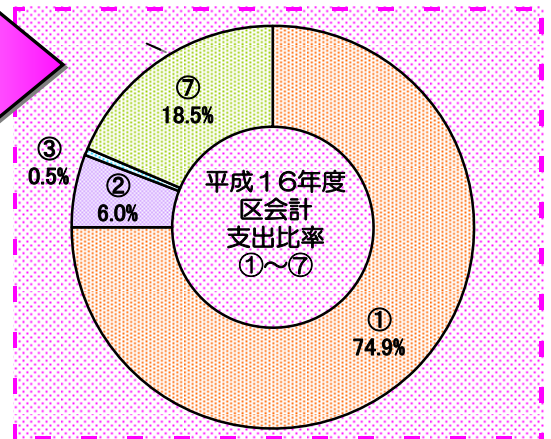
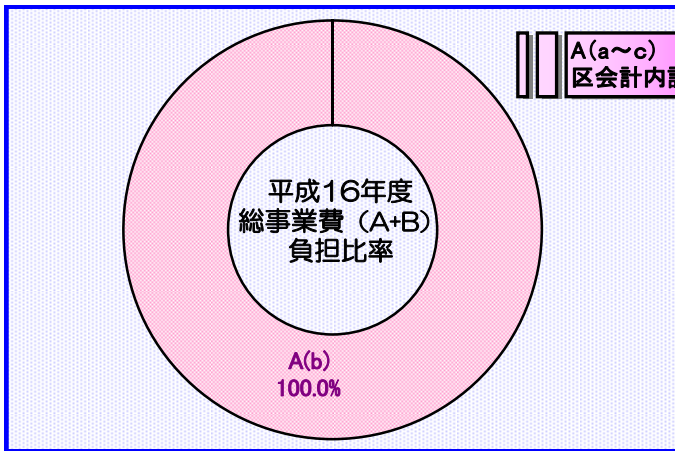
対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	資源回収事業	ごみ減量・リサイクル推進をはかるため、週1回区内のごみ集積所に出された資源を、区が回収してリサイクルしている。
②		
③		

その他背景・他の自治体の状況等

集団回収は、区が資源回収を実施する前から地域の人たちによって行われおり、15・16年度の回収実績は、いずれも区の資源回収量（集積所回収）を上回っている。区ではリサイクル推進の第一の柱として積極的に支援している。他の多くの自治体でも江戸川区と同様に集団回収実施団体への支援を行っている。

16年度総事業費 (A+B) 177,315千円



A 区の会計内訳 (a～c) 177,315千円

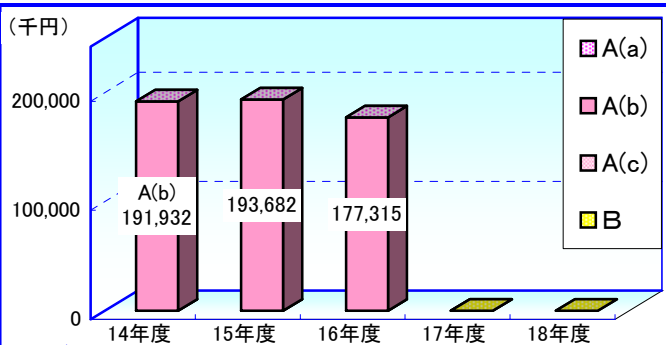
A(a) 国都支出金 (歳入)	0千円
A(b) 区負担分	177,315千円
A(c) 受益者負担 (歳入)	0千円

支出内訳 (①～⑦)	
① 報償費	132,840千円
② 需用費	10,715千円
③ 役務費	888千円
④ 委託料	0千円
⑤	
⑥	
⑦ 人件費	32,872千円

B 利用者が事業者等へ直接支払う額

0千円

総事業費の経年変化 (14年度～)



ア 常勤職員	4.0人
イ 非常勤職員	
ウ 臨時職員	

古紙1kgあたりにかかる経費 (16年度)

集団回収の場合 **約11円**

区の資源回収の場合 **約30円**

経費の説明

経費の81%が、区民の集団回収活動の支援に使われています。

経費は全額 区が負担しています

平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	14	事業名	集団回収支援事業
-------------	----	------------	----------

所属名	環境防災部 清掃・リサイクル課 リサイクル推進係
------------	--------------------------

所 管 課 長 評 価

そう思う ←→ そう思わない

		評点	5	4	3	2	1		備 考
【必要性・代替性】									
1	区が実施すべき事業である。			○					
2	目的を達成するために他の手段がある。						○		
【実績】									
3	目的を果たすために有効な事業である。			○					
4	事業の成果を上げている。			○					
【公平性】									
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。			○					
6	受益者負担を検討する必要がある。						○		
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性を表記する。									
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。								集団回収自体が貴いボランティア活動である
8	民間委託の可能性がある。				○				
【効率性】									
9	工夫や改善が必要である。			○					
10	経費を削減できる可能性がある。			○					経費は活動の消耗品や、回収の報償費にあてられている。

所 管 部 長 の 意 見

循環型清掃事業を進めるには、最初の資源の分別を効率的にできることが必要である。
 集団回収は区民との協働により成り立つものであり、さらにその協働を育て、拡大していきたい。

平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	14	事業名	集団回収支援事業
			所属名 環境防災部 清掃・リサイクル課 リサイクル推進係

外部評価委員会評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。	<input type="radio"/>					
2	目的を達成するために他の手段がある。		<input type="radio"/>				
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	<input type="radio"/>					
4	事業の成果を上げている。	<input type="radio"/>					
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。			<input type="radio"/>			
6	受益者負担を検討する必要がある。			<input type="radio"/>			
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性を表記する。							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		<input type="radio"/>				団体数だけでなく、活動人数や活動回数が増えることが望ましい。
8	民間委託の可能性はある。		<input type="radio"/>				
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。		<input type="radio"/>				
10	経費を削減できる可能性がある。		<input type="radio"/>				

外部評価委員会の意見

- ・資源回収事業の継続は、区と区民の協力が必要不可欠な要素であると思われる。
- ・世界的に「もったいない」という言葉が見直されている。区民の意識を高めるためには、区の支援が必要であり、今後もこのような事業を積極的に推進してほしい。